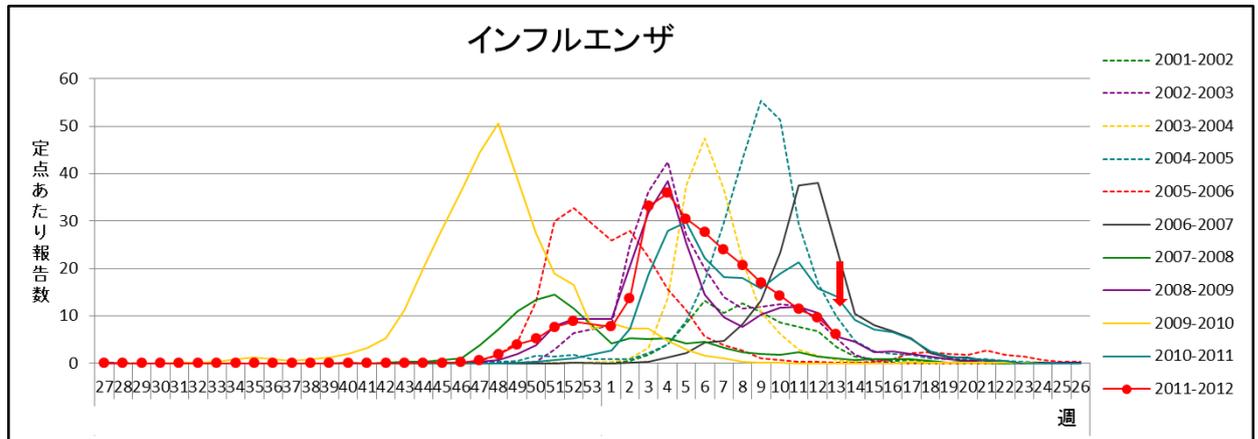


## インフルエンザ情報 第 13 週 2012 年 3 月 26 日 ~ 4 月 1 日

岡山県は、『インフルエンザ注意報』発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 516 名（ 定点あたり 6.14 人 ）となり、第 4 週をピークに減少傾向にあります。
- 岡山県では『インフルエンザ警報』を解除し、『インフルエンザ注意報』に切り替えました（4 月 5 日）。
- 県全体、および県内全地域で感染症発生レベル 1 になりました。



インフルエンザ患者数は 516 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 6.14 人 ）となり、前週（ 814 名 定点あたり 9.69 人 ）より減少しました。岡山県では 2 週連続で定点あたり 10 人を下まわり、患者発生数が減少を続けていることから、平成 24 年 1 月 26 日に発令した『インフルエンザ警報』を『インフルエンザ注意報』に切り替えました。

地域別では、倉敷市（ 9.19 人）、美作地域（ 8.80 人）、備前地域（ 6.27 人）、岡山市（ 5.82 人）、備中地域（ 3.42 人）、備北地域（ 2.67 人）、真庭地域（ 0.67 人）の報告があり、県内全地域で患者が減少しました。

警報は注意報に切り替わり、流行のピークは過ぎたものの、依然として患者発生はつづいており、今後も流行が継続する可能性が考えられます。現在、流行の中心は B 型であり、例年、B 型は 4 月上旬頃まで流行がみられます。昨シーズンは 4 月、5 月になってからもインフルエンザによる学校の臨時休業があり、今後も注意が必要です。

『手洗い・うがいを徹底する。』『咳エチケットを心がける。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

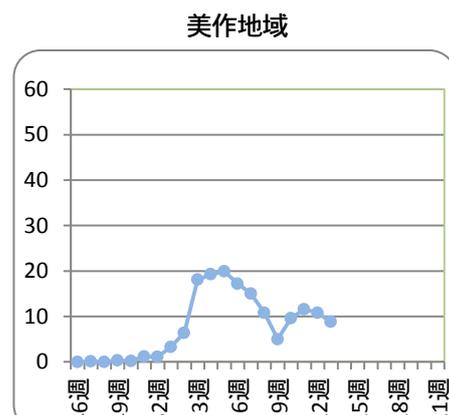
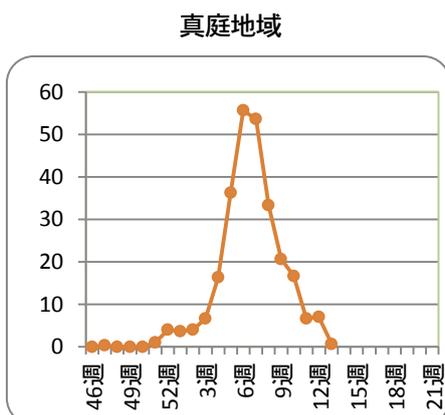
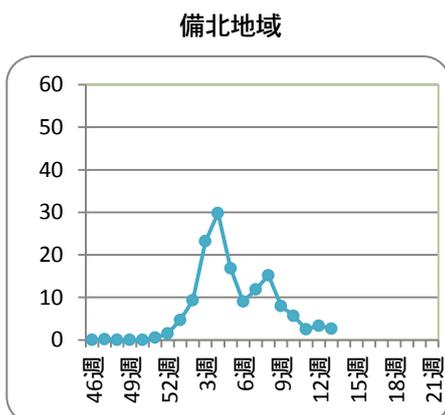
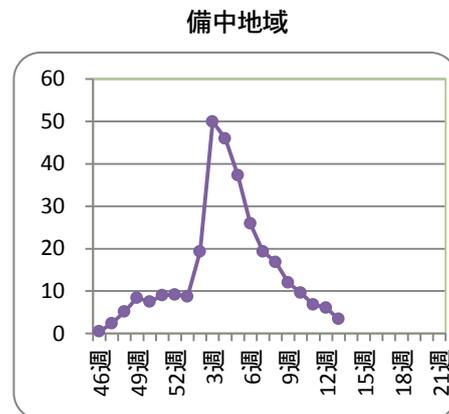
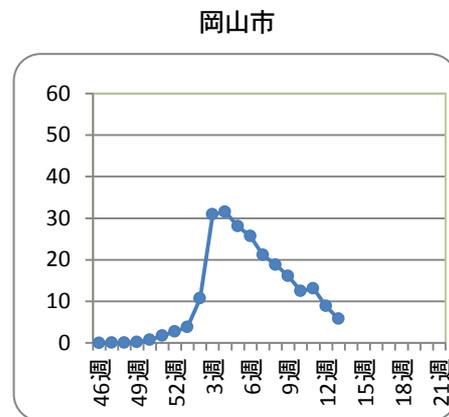
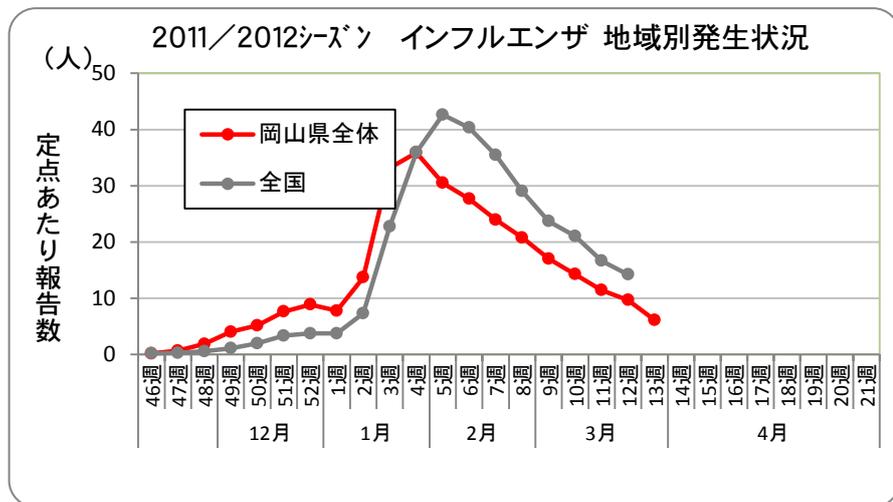
[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

# 1. 地域別発生状況

第13週 (3/26~4/1) 前週からの推移 (単位: 人)

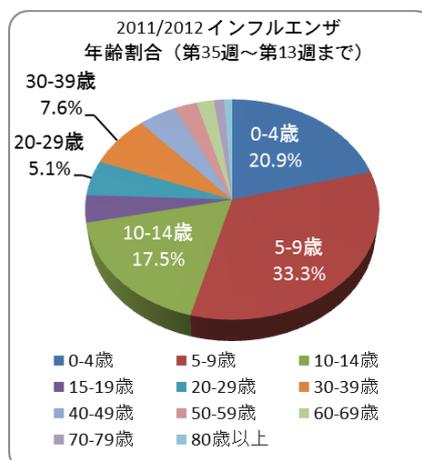
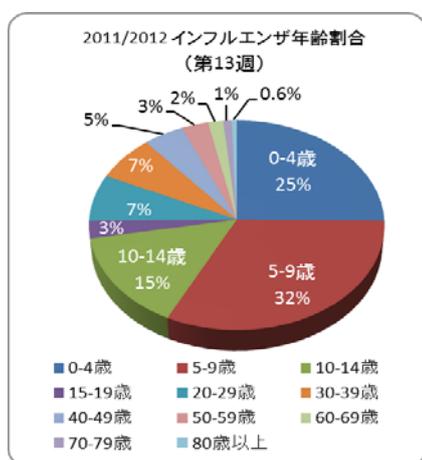
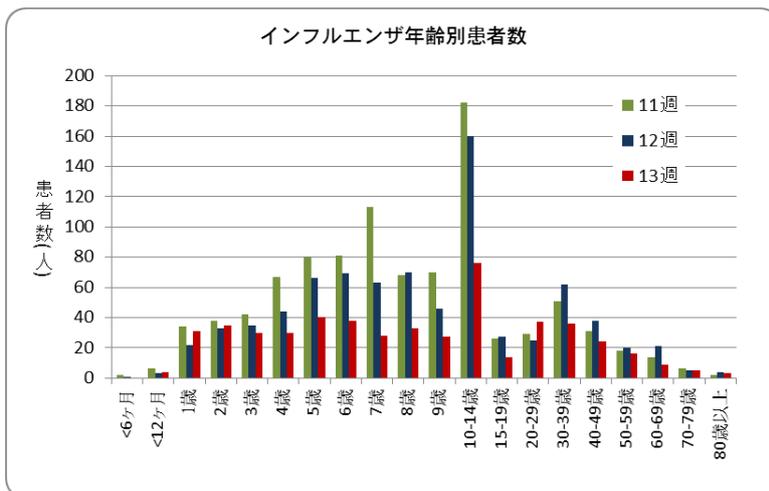
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	516	↓	備 中	患者数	41	↓
	定点あたり	6.14			定点あたり	3.42	
岡山市	患者数	128	↓	備 北	患者数	16	↓
	定点あたり	5.82			定点あたり	2.67	
倉敷市	患者数	147	↓	真 庭	患者数	2	↓
	定点あたり	9.19			定点あたり	0.67	
備 前	患者数	94	↓	美 作	患者数	88	↓
	定点あたり	6.27			定点あたり	8.80	

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ 2倍以上の減少    ↓ 1.1~2倍未満の減少    → 1.1未満の増減  
 ↗ 1.1~2倍未満の増加    ↑ 2倍以上の増加



## 2. 年齢別患者発生状況 第13週（3/26～4/1）

第13週、患者の年齢割合は5-9歳が全体の32%で最も多く、0-4歳が25%、10-14歳が15%の順でした。春休み期間中だったため、幼稚園児や小学生に該当する年齢層の患者は減少しましたが、0-4歳の低年齢層で患者が増加しました。



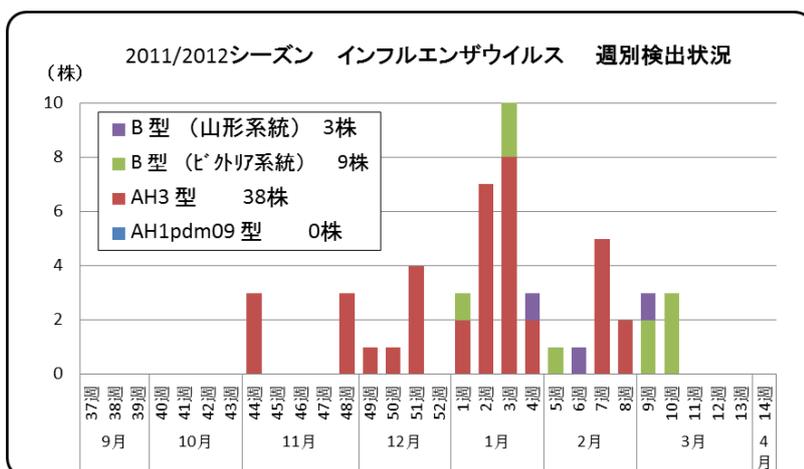
### ➤ インフルエンザウイルス検出状況 第13週（3/26～4/1）

第13週、当センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。

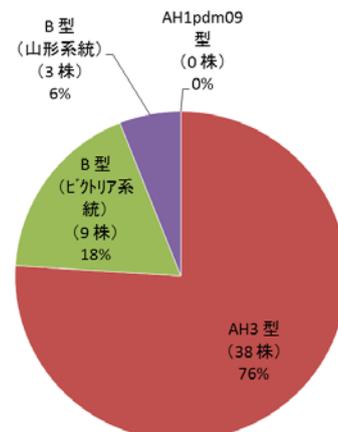
今シーズン県内では、AH3型が38株、B型（ビクトリア系統）が9株、B型（山形系統）が3株検出されており、3月からB型が主流になっています。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型の割合が最も多く82.7%、B型が17.1%、AH1 pdm09型が0.2%の順になっています。AH3型が主流でしたが、B型の検出が増加しています。

[\(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン\)](#)



2011/2012シーズン 岡山県インフルエンザウイルス 型別検出割合 (n=50)

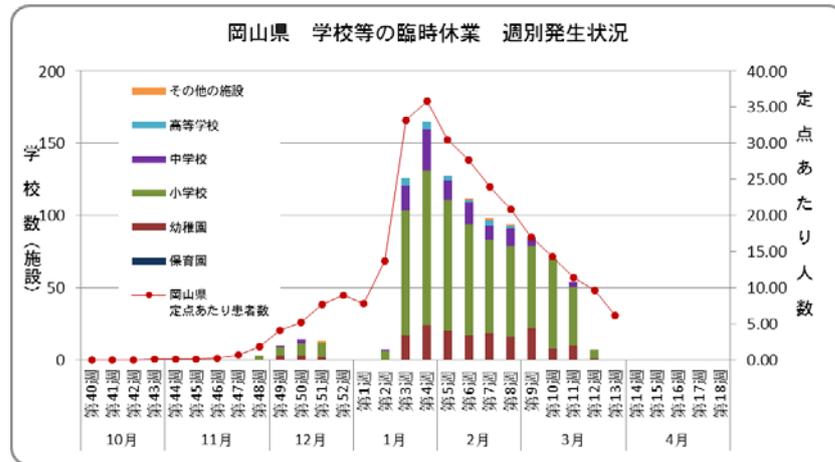


➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 13週 (3/26~4/1)

第13週、学校等の臨時休業はありませんでした。

第13週までの合計は、有症者数 15,427名、うち欠席者数 11,298名、施設数はのべ 986施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業 \(健康推進課ホームページ\)](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第13週】

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
<b>岡山県全体</b>	<b>0</b>	<b>15,427</b>	<b>0</b>	<b>11,298</b>	<b>0</b>	<b>986</b>	<b>0</b>	<b>40</b>	<b>0</b>	<b>283</b>	<b>0</b>	<b>663</b>	<b>H23.10.31</b>
岡山市	0	6,582	0	4,595	0	385	0	4	0	66	0	315	H23.12.15
倉敷市	0	3,684	0	2,756	0	219	0	7	0	39	0	173	H23.10.31
備前地域	0	1,945	0	1,571	0	146	0	6	0	67	0	73	H23.12.5
備中地域	0	1,401	0	1,175	0	115	0	10	0	46	0	59	H23.11.30
備北地域	0	313	0	227	0	29	0	3	0	12	0	14	H24.1.16
真庭地域	0	537	0	341	0	33	0	7	0	22	0	4	H24.1.13
美作地域	0	965	0	633	0	59	0	3	0	31	0	25	H24.1.16

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2. 臨時休業施設数の内訳 第13週 (3/26~4/1)

第13週：0施設

累計：986施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	—	161	—	688	—	111	—	22	—	4

➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第13週 (3/26~4/1) ( 県内基幹定点 5 医療機関による報告 )

第13週、インフルエンザによる入院患者はありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがあり、また乳幼児ではまれに脳症を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	10	21	13	3	1	1	2	1		5	13	21	91
ICU入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)	1	7	4	1	1						4	2	20
頭部MRI検査(予定含)	1	3									3	1	8
脳波検査(予定含)	1	6	1								3	1	12
いずれにも該当せず	9	12	9	2		1	2	1		4	7	19	66

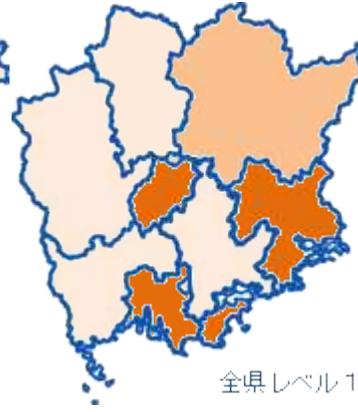
重複あり



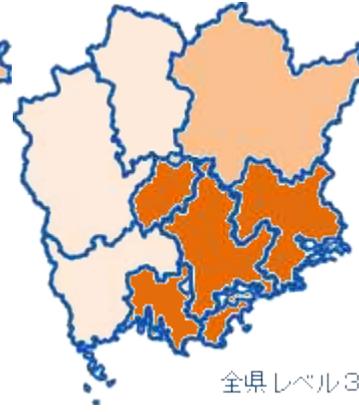
13週 3/26~



12週 3/19~



11週 3/12~



10週 3/5~



9週 2/27~



8週 2/20~



7週 2/13~



6週 2/6~



### インフルエンザ

レベル3		レベル2		レベル1		報告なし	
開始基準値	終息基準値	基準値		基準値		基準値	
30	10	10 以上 30 未満		0 < 10 未満		0	

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。